

未来づくり懇談会（前岡）会議録

日 時：平成29年10月10日（火）

18：30～20：12

場 所：前岡自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策部長、

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な片岡地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等を説明

5 意見交換

Q1 人口減少や空き家対策として、どのようなことを行っているのか。

A1 平成28年1月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。計画の基本目標として、雇用、定住人口、交流人口、各世代の支援、活力ある、魅力あるまちづくりを観点として策定した。具体的には既存施策の重点化、新規施策の推進があるが、例をあげると雇用の面では、企業誘致を更に推進する、創業支援として補助金交付の検討、定住促進については、定住促進補助事業として40万円＋加算補助を以前から続けている。交流人口増は、自転車を活用したまちづくりとして、泉でヒルクライムレース、片岡ではJプロツアーを実施した。各世代の支援としては高齢者サロンの実施、病児病後児保育を検討していきたいと考えている。

活力と魅力あるまちづくりについては、市営バスの充実、スマートICの整備、小さな拠点づくりとして、泉だけではなく片岡でも考えている。

Q2 前岡からの通学路が磯接骨院からJR宇都宮の跨線橋を渡るルートとなっているが、笹が生い茂っていたり、空き家になっていたりする。変質者がいた場合、駅が近いので電車で逃走される恐れもあり、空き家対策や雑草対策を行ってほしい。

A2 空き地、空き家の適正管理については、担当課からの文書でお願いしている。お願いとなるので強制力はない。現地を見て区長に相談する。

空き家対策として、本年6月から空き家バンクを開始した。定住促進補助事業は中古住宅でも対象となるので、活用してほしいと思う。

変質者が現れたら、どこかの家に逃げ込みなさいと指導はしている。逃げ込み先

として、「子ども110番の家」があるが、普及が進まずPTAや学校にお願いしているので協力願いたい。Jアラートの時も同様をお願いしたい。

Q 3 2年位前に新幹線の陸橋の取り壊しについて、前岡公民館で説明会があった。陸橋の強度の問題で、検査等で多額の費用がかかることから、行政区としてはどうするかとの話であったが、それ以降の説明などもないので、どのようになっているのか。

A 3 新幹線の陸橋については、建設課からも懸案事項として報告は受けていないので、持ち返って確認する。

平成 29 年度	市の方針として、撤去の意向を報告会にて地元にお知らせ。
平成 30 年度	JR と協議予定

Q 4 国道4号の4車線化にともなう、現在設置されているボックスカルバートはどうなるのか。また、4車線化された場合、横断することが難しくなると思う。信号の設置などについて話し合いはあるのか。

A 4 国道4号のボックスカルバートについては、梶ヶ沢行政区からも意見があった。建設課から国道事務所に、前岡、後岡のボックスカルバートの話はしてある。

今後、意見聴取などはあると思うが、ボックスカルバートの件は引き続き要望していく。4号を横断するための信号設置などは、詳細な決定がされていないと思う。要望があった旨は伝えていく。

Q 5 旧片岡郵便局前に抜ける道路で、新幹線の交差部分が夕立や台風で冠水してしまう。その部分の水路勾配が道路の西側と東側で違うので調べてほしい。

A 5 すぐに形にするのは難しいと思うが、現地を確認する。

Q 6 国道4号のボックスカルバートのところはS字カーブになっている。4車線化した場合、見通しもさらに悪く危険になる。

A 6 道路の件は市道になるので研究させてもらう。

平成 29 年度	国道工事事務所に要望。
----------	-------------

Q 7 前岡1号線を測量したそうだが、着工はいつごろになるのか。

A 7 11月くらいには用地取得したいと思っている。工事については建設課では平成30年度で計画しているが予算の状況による。

平成 29 年度	用地補償契約
平成 30 年度	踏切東側の道路改良工事に着手予定。

Q 8 やいたの道の駅は、矢板以外のものを取り扱っておらず、品揃えが少ないので、取扱いの方法を変えることはできないのか。

A 8 道の駅の品物は、矢板市産にこだわっている。昼過ぎや時期によっては、確かに品物が無いときもある。再来年の4月末で矢板市農業公社の契約が切れるので、運

営方式について担当課と検討を始めている。お客さんからは、矢板の物しかないので安心できるとの声もある。

平成 29 年度	平成 30 年度で農業公社と指定管理契約が満了となるため、道の駅の管理・運営に関する調査、研究を実施。 平成 30 年 3 月に市主導の第 3 セクターで管理運営する方針と決定。
----------	--

Q 9 この地区に市営バスは通っていない。通すのが困難なら、ファミリーサポートセンターのような形態で送迎を行っても良いのではないか。これから高齢化が進行すると、家から出かけない方もいるので、家の外に出かける機会を、市と行政区が協力してできると良いと思う。

A 9 高齢者の移動手段の確保については、他市町でデマンド交通や福祉タクシーなど実施しているので、高齢者の足の確保については真剣に考えていきたい。

引きこもりがちな高齢者については、高齢対策課できらきらサロン事業を実施しているので、行政区単位で取り組んでほしい。ファミサポの話は参考になったので考えたい。

◆高齢者の移動手段	
平成 29 年 10 月	75 歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の実証実験
平成 30 年 4 月	65 歳以上の運転免許証自主返納者の市営バス無料化 65 歳以上 75 歳の誕生日まで
平成 30 年 4 月	75 歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の本格実施
◆高齢者の生きがいつくり活動	
高齢者の生きがいつくり、健康づくり、社会参加を目的として、いきいき体操教室、きらきらサロン、はつらつ館、お元気ポイントなど様々な事業に取り組んでいる。	

Q 10 塩谷広域次期環境衛生施設について、施設、道路とも工事が始まったようだが、施設に設置する発電設備の電気が売れないと聞いたがどうなのか。また施設から発生するお湯で、プールか温浴施設を作ると聞いたが、どちらを作るのか。

A 10 発電施設の電気は、施設内の管理運営に使用する前提。余剰分は売電となるが、系統連携の順番待ちと聞いている。

お湯を利用した温浴施設の設置を予定している。安沢行政区から要望があって盛り込んだと塩谷広域から聞いている。温浴施設は周辺の方も利用できる。

Q 11 オレオレ詐欺に対する市の対策は。

A 11 暮らし安全環境課（矢板市消費者生活センター）で啓発活動を行っている。また防災行政無線を活用して注意喚起の放送をしている。矢板警察署と連携して進めていく。

街頭での啓発活動や、消費生活に関する出前講座を実施し、最新の事例などを紹介等、様々な手段を講じて被害防止を図っている。

警察と連携を図りながら、防災行政無線等で注意喚起の放送を行っている。

7 閉 会 20:12